

-住環境・浴室・洗面台・内視鏡・カテーテル・透析器・ヒト・環境関連・製造環境、  
各産業上におけるバイオフィルム発生事例とは-

1名分料金で  
2人目無料

# バイオフィルムの形成メカニズムと評価・対策

◆日時:2019年11月27日(水) 12:30~16:30

◆会場:江東区産業会館 第6展示室

◆聴講料:1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円**

・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円)**

※学生のご参加は、1名につき受講料11,000円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

### ●講師:麻布大学 生命・環境科学部 教授 博士(獣医学) 古畑 勝則 氏

《専門》 環境微生物学(レジオネラ属菌) 微生物生態学(バイオフィルム) 微生物制御学

近年、バイオフィルムはあらゆる分野で問題視されています。しかし、これらに対する最高の手だては未だ見出されていません。

今回の講義では、微生物の特性とバイオフィルムの基礎を十分に理解していただき、各分野での対応につなげていただければ幸いです。

1. はじめに	7. バイオフィルムの構造と形成過程
2. 常在微生物と病原性微生物	7-1 バイオフィルムの構造
3. 微生物制御(滅菌と消毒)	a. 電子顕微鏡所見      b. 模式図
4. 微生物の検査	7-2 バイオフィルムの形成過程
5. バイオフィルムの発生事例	7-3 クオラムセンシング
5-1 住環境	8. バイオフィルム評価に関する新しい方法
a. 浴室                      b. 洗面台	8-1 MBEC (最小バイオフィルム除菌濃度) の測定
5-2 医療関連	8-2 WST法 (微生物活性の測定)
a. 内視鏡                      b. カテーテル                      c. 透析機	9. バイオフィルム形成防止技術・除去技術
5-3 環境関連	9-1 クオラムセンシングの応用                      9-2 洗浄
a. 冷却塔                      b. 温浴施設(浴槽)	10. バイオフィルム対策の実際
5-4 ヒト (バイオフィルム感染症)	10-1 水環境                      10-2 食品製造
6. バイオフィルムの正体	10-3 歯科領域                      10-4 医科領域 (バイオフィルム感染症対策)
6-1 肉眼的所見                      6-2 顕微鏡所見	11. 製造環境におけるバイオフィルムの発生事例
6-3 培養所見                      6-4 分離株の菌種同定	12. まとめ
6-5 分離株の特性	

【質疑応答・名刺交換】

## 『バイオフィルム評価』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール  郵送

### ● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、弊社へFAXでお申込み下さい。

弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>